

## 「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体) (1/6)

2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	11	22%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	18	35%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	12	24%
D	大学院修了という学歴がほしいから。	8	16%
E	将来に不安を感じたから。	2	4%
F	時間に余裕が出来たから。	0	0%
G	その他	0	0%

G:理由

-	
---	--

3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	12	18%
B	先輩	11	17%
C	学内での説明会	9	14%
D	オープンキャンパス	3	5%
E	大学院パンフレット	17	26%
F	本学ホームページ	14	21%
G	その他	0	0%

4. あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	10	20%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	15	29%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	8	16%
D	課題の発見に関する研究	6	12%
E	課題の解決を目指す研究	9	18%
F	実践的応用に関する研究	3	6%
G	その他	0	0%

G:具体的内容

-	-
---	---

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	13 (52%)	11 (44%)	1 (4%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	4 (16%)	16 (64%)	5 (20%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	7 (28%)	14 (56%)	3 (12%)	1 (4%)
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている	3 (12%)	15 (60%)	6 (24%)	1 (4%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	12 (48%)	9 (36%)	4 (16%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	1 (4%)	6 (24%)	12 (48%)	6 (24%)

## 「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体) (2/6)

5.今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	0	0%
1～2科目	8	33%
3～5科目	3	13%
6～10科目	4	17%
11科目以上	9	38%

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	22	85%
B	ない	1	4%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	3	12%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
地文M2	英語教育特殊研究	研究のための時間でしたので役に立ちました。細かくご指導下さいました。
地文M1	日本語論文の書き方Ⅰ・Ⅱ	論文を書くうえで基本的なことを学べ、修論を書くことに役に立っている。
地文M1	南島地理学	最新のGISの状況や、GISを活用した地図の作成を具体的に学ぶことができたため。また、論文を書くにあたって、基本的な手順や気をつけるポイント、おすすめの参考文献についても学ぶことができた。
地文M2	南島先史学持論	考古学と歴史学の違いがよくわかりました。対象やアプローチの仕方を意識して他領域(民俗学も含めて)に関心をもつようになりました。
地文M1	南島地理学	地図の作り方が学べ、修論にも活かせると思ったから
地文M1	臨床心理基礎実習ほか全ての履修科目	実践的で理論的。
地文M1	心理学研究法特論	卒論を発表することで、今後研究する上でどのような点に注意すべきか、今の自分の課題が見えた。
地文M1	南島地理学特論1	社会調査をする上で必要なデータの扱い方や、必要な地理データの活用方法の基礎を学ぶことができたので良かった。
地文M2	社会言語学特論	調査方法や過去の事例について全員で意見交換を行うことで、多くの知識が得られた。
地文M1	心理学研究法特論	研究方法の明確化、視野を広げる点で役に立つと思いました。
地文M2	南島社会文化特殊研究Ⅱ	修士論文の執筆について、指導教員と面談ができる点
地文M1	心理学研究法特論	論文の読み方や修士論文の研究計画にもコメントをいただけたので。
地産M2	税務会計特殊研究	修士論文の作成に多いに役立てることができたと思います。
法M1	税法特殊研究	分からないことを、とことん調べて追求すること
法M1	労働法持論、税法特殊研究	自分で判例研究をして、発表したり、意見を言い合ったりすることが、修論を書くうえで、基礎となったと思います。
法M1	税法特殊研究Ⅰ	税法の授業だから
法M2	税法特殊研究Ⅱ	税法の解釈について役に立つと思った。
法M2	税法特殊研究Ⅱ	修士論文の作成に直接アドバイスなどをいただけるからです。
法M2	税法	現在の職業に関係のある内容
法M2	税法特殊研究	税法への理解が深まる

③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	5	19%
B	ない	19	73%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	2	8%

## 「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体) (3/6)

③(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点の改善した方が良かったのですか。

回答者	科目名	理由
地文M2	正直、研究に直接関係のない科目は負担でした。	ある程度法的のルールがあるのですが、大学院ですから自分の研究に関する科目のみに集中したいと思うのは私だけですか？
地文M1	*	講義中に教員が煙草を吸っていた。また、院生の意思を無視して講義に部外者(学部生1人)を参加させた事。自分とその学部生の仲が元々悪かった事もあり、講義に集中しづらく最悪だった。(更に、たまたまその講義では履修者が自分1人という事もあり、煙草や学部生の参加についても学務課等に相談する事も難しかった。)
地文M1	社会福祉原理特論	講義はとても良い内容だが、講義の成績判定のための課題の内容の把握が難しい。また、上記課題については簡単な説明で終わってしまっているので課題への取り組み方が分かりづらい。
地文M1	統計法	レジュメ配布など分かりやすく説明をしてもらいたい。
法M1	憲法特論 I	憲法の知識は身につきますが、学部の授業をそのままやっている感じで、これがどう修士論文を書く上で役に立つのかと聞かれるとわかりませんでした。聞くだけの授業はしんどいです。

6. あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	22	85%
B	満足していない	1	4%
C	どちらでもない	2	8%
	無回答	1	4%

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地文M1	<p>指導教官との修士論文作成へ向けた話し合いが取りづらい。 個人的な論文作成への進み具合もあるが、指導教官からのフォローがもう少し多い方がいいと感じる。しかし、教員も忙しいので一概には言えないので…。</p> <p>研究環境については一通りの設備は揃っていいのだが、13号館の最上階と気軽にアクセスしにくいと感じる場所と思う。また、自習室とかロッカーのある部屋も一部人数の割と多い専攻の院生が占領している状態のため利用しづらいと感じる。</p>
------	---

③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	15	58%
B	なくてもよい	2	8%
C	どちらでもよい	7	27%
	無回答	2	8%

④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地文M1	指導教員のやり方をあらかじめ話し合うのはいいことだと思います。
地産M2	私にとって、期待以上の指導体制があり、また、充実した環境で学ぶことができました。ありがとうございました。

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	15	58%
B	満足していない	6	23%
C	どちらでもない	4	15%
	無回答	1	4%

## 「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体) (4/6)

②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

回答者	理由
地文M2	パソコンが新しくなったことはよかったです。
地文M1	コピーカードが使用できる13号館6階の印刷機、図書館に設置されている印刷機の性能が悪いと感じる。本のノドのあたりが印刷されないぜひ改善してほしい。パソコンの性能、印刷機(パソコンからのデータを印刷する方)はとも使用しやすくとともにたすかっている。ありがたい。
地文M1	6階の資料室の資料を貸出ができるようにしてほしい。一部の共同部屋が私物化されていて使いづらい
地文M2	沖縄関係の資料(とりわけ研究書)が貸し出しできる本が少ないと感じます。貸出可の本を増やしてほしいです。調べるのが不便なときがあります。大学院関係の連絡を掲示板だけでなく、メールで送ってもらいたい。重要な連絡を知るのが早く知りたいからです。
地文M1	6番目の質問でも答えたが、13号館の6階は気軽に立ち寄るのが難しい。ロッカーのある部屋に対して利用しづらいと感じる部分がある。また、図書館の資料等が割と古めなので随時最新の論文や文献などわ補充してもらえればと思います。
地文M2	研究科資料閲覧室の本の所蔵が少ない
法M1	パソコンの落ちあがり遅いこと。プリンターで両面印刷をするとすぐにつまって使い物にならないこと。
法M1	自習室等の使える時間を1時間延ばしてほしい

③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	19	73%
B	たまに利用している	6	23%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	1	4%

④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

回答者	内容
地文M2	共同研究室で寝ている人がいますが、寝ていない者が気を使います。禁止にしてください。それとも個室(図書館)へ行って下さい。
地文M1	図書館について。郷土資料室に字誌をもっと多くおいてほしい。できれば集中的にあつめてほしい。市町村史ではのっていない詳細な情報がのっていることが多々ある。
地文M2	13-304のエアコンは「暖房」になっただけでもつけると冷気が吹いて冷えまして。見ていただければと思います。
地文M1	13号館6階がアクセスしづらいです。
地文M2	図書館の休館が多く感じた。
地文M1	5号館含めてパソコン室の開室時間がもう少し長いと助かります。図書館の開館日数も増やしてもらえると良いです。
地産M1	ねれるベッドがほしい
地産M2	施設としては、自習室、共同研究室、資料閲覧室、そして、図書館と何不自由のない環境で楽しく研究ができました。魔法瓶、レンジも助かりました。1点だけ、お願いがあります。自習室、共同研究室に暖房の設備を入れていただきたいです。この冬は風邪を引いてしまう。毎月のように病院通いでした。これから、入学する院生のために希望します。よろしく願います。
法M1	製本のために雑誌が長期間閲覧できなくなるのは困ります。沖国にあるものを、沖大までわざわざ印刷しに行きました。どうかかして下さい。
法M2	大学の入試試験等でも施設を利用できるようにしてほしい。
法M2	13号館を24時間とまでは行かなくとも、せめて深夜1時頃までは開けてほしい

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	4	15%
B	行っていません	17	65%
C	過去に経験があります	4	15%
	無回答	1	4%

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	続けたい	3	11%
B	続けたくない	1	4%
C	どちらでもない	2	7%
	無回答	20	74%

## 「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体) (5/6)

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地文M1	勉強になるから
地文M2	私では力不足だと思うので、自分から志願って言うのはしないと思ったので。
地産M2	卒業するため
法M1	人に説明することで自分の理解にもつながるから。

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	6	23%
B	してみたくない	5	19%
C	どちらでもない	6	23%
	無回答	9	35%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地文M2	機会があればしてみたいです。
地文M1	教授の仕事や授業(講義)への取り組み方を知ることができるから
地文M1	同じ分野に興味を持つ学部生と交流がしてみたいから
地文M2	研究する時間をとりたいからです。
地文M1	学生に教える事で自分の知識や理解がより深くなると感じたから
地文M1	してみたいという気持ちはあるが、自分に他者をサポートできる力量はまだないと感じている。
地文M1	可能であればやって見たい程度と感じる。あとは、自分の時間との調整も今はわからないので。
地文M1	経験することは自分の今後の成長につながるとは思いますが、課題や修論など常にやる事が多く、時間がほしいため。
地産M2	すでに就職しています。
法M1	仕事があり、サポートすることが不可能であるため。
法M2	仕事をしているので、時間の調整が可能であれば、経験したい。
法M2	内容があまりわからないため。
法M2	現在の仕事で満足しているため時間がない
法M2	魅力がわからない

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	15	58%
B	知らない	9	35%
C	興味がない	1	4%
	無回答	1	4%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	10	38%
B	たまに利用している	2	8%
C	全く利用していない	8	31%
	無回答	6	23%

③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	1	4%
B	たまに参加している	9	35%
C	全く参加していない	10	38%
	無回答	6	23%

「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体) (6/6)

10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

地文M2	地域文化の自習室は専攻により分けた方がよいです。全然使えませんでした。人数の多い福祉の人達の為の教室のようでした。
地文M1	南島文化研究所の施設の使いかたや閲覧できる資料の一覧を知りたい。ポータルなどで掲示してほしい。
地文M2	南島文化研究所ですが、院生にとっては利用しづらい場所というイメージがあります。文献の所蔵を相談しに行ったことがあります。が、「図書館へ行って相談して下さい」と言われ、研究テーマについて本研究所を利用するというのがありませんでした。当時の私の非礼、見間違いなところもあったと思います。どうい施設でどのような利用ができるのか院生に説明してもらえる機会があればと思います。
地文M1	特にないです。
地文M2	大学院生用の仮眠室が欲しい
地文M1	コピーカードの枚数を増やしてほしいです。
地産M2	特にありません。
地産M4	マーケティング科目を増やして欲しい、経営科目を増やして欲しい。
法M2	駐車場の利用が、平日不便である(学部生と共同)。